



## クリニカルクエスチョンとは何ですか？



診療ガイドラインで答えるべき疑問の構成要素を抽出し、ひとつの疑問文で表現したもの。

クリニカルクエスチョンとは、診療ガイドラインの対象となる病気の検査や治療において重要で回答を出すべきだと考えられる課題です。たとえば、新たな臨床研究でよりよい選択肢が示された場合や、長年の慣行で複数の選択肢が並存している場合など、複数ある選択肢のうちどれが最適な選択肢となるか判断が求められるといった状況が考えられます。

クリニカルクエスチョンを明らかにするために、まず取り上げる臨床課題を決めて、以下の4点で整理します。

- Patients（対象：治療の対象となる患者の特性や範囲）
- Interventions（介入：検討したい医療行為）
- Comparison, Comparators（対照：比較対照となる医療行為）
- Outcomes（アウトカム：医療行為によって患者に生じうる結果）

※アウトカムには、生存期間の延長などの益のみでなく、医療行為によってもたらされる害も含まれます。

※頭文字をとって「PICO（ピコ）」と呼んでいます。

PICOが決まったら、一つの疑問文で表現します。

これをクリニカルクエスチョンと呼びます。

「患者に対して、医療行為(Intervention)と医療行為(Comparison)のどちらを行うことが推奨されるか？」という形が一般的です。

診療ガイドラインでは、ひとつひとつのクリニカルクエスチョンに対して、エビデンスなどに基づいて、回答となる推奨を作成していきます。

